

編集後記

「博士の愛した数式」という小説を読んだ。小川洋子さんが書いたすばらしい小説で最近映画化もされた。「僕の記憶は80分しかもたない」という数学者の博士と家政婦さんと、その息子「ルート」との、ちょっと悲しいけれど暖かさに満ちた物語である。この小説に登場する「博士」は実に数学を教えるのがうまい。「博士」は抽象的な数学をうまく直感にうたえて教えるし、何より数学のテクニカルな部分でなく、おもしろさが伝わるように工夫している。もちろん、このお話しは小説家が作ったフィクションであるが、実際に、この小説がきっかけとなってちょっとした数学ブームになっているらしい。

最近、高校生に科学に興味を持ってもらうための様々なプログラムが行われていて、私も担当することになった。私は何よりプラズマ物理の不思議さを高校生に知ってもらおうと大きなプラズマボールを作って実演してみたりしている。幸い高校生はとても興味を持ってくれて、いろんな質問をいただける。ところが、「参考になるホームページはありませんか」という質問を受けると、いつも困ってしまうのだ。

私が高校生だった頃は科学に対する情報は本から得ていた。ブルーバックスや岩波新書は、科学の世界への入り口だった。でも、いまどきの高校生は、情報は、まずインターネットで検索して調べるようだ。だから、プラズマ物理への興味を誘う、すばらしいホームページが存在することは、とても大切なことなのである。ところがgoogleで検索してみてもプラズマ・核融合関係の初心者に興味を抱けるようなホームページはなかなか見つからない。個人の努力

で作られているページが多いせいか文章主体で絵が少なくとっつきにくい。なにより自分たちの都合でつくられているページが多くて核融合の有用性や安全性を訴えているがプラズマ・核融合のおもしろさについてはあまり書かれていないページが、とても多い。

これは、どうも我々の業界だけの特有の現象であるように思える。“高エネ研 (<http://www.kek.jp/ja/index.html>)”や“すばる (http://www.naoj.org/j_index.html)”のホームページを見て頂きたい。サイトを訪れた普通の人が高エネルギー物理や宇宙に興味を持ってもらえるように様々な工夫を施して作成されている。対照的に核融合関係の有力な研究所のホームページは、そもそも研究所の職員や、研究者向けなど内部向きにつくられていて一般の人に対するメッセージは極めて希薄だ。インターネットでサーフィンする、ごく普通の人が何を期待しているか考えて作られていない。プラズマ物理や核融合に興味や関心をもってもらって、わかりやすく伝えるという発想がないようだ。

私はプラズマ物理の真理を極めることも大切だし日本の将来のエネルギーのために核融合技術を確認するのも大切だと考える。しかしプラズマ・核融合研究を通して科学のおもしろさを、ごく普通の人に伝える、ということも同じくらい大切ではないか。我々が、そのために、もっと努力しなければならぬのではないかと。昨年度末にNHK教育テレビで科学関係の年間10大ニュースを発表していたが「ITER サイト決定」はベスト10にも番外にもあがっていなかった。プラズマ物理、核融合もブームにならないかな。

(南 貴司)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	山中 龍彦 藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	今井 剛 奥野 健二 佐藤浩之助 畠山 力三 (企画委員長) 森 雅博		榎戸 武揚 (広報委員長) 尾崎 章 (財務委員長) 田中 和夫 (プログラム委員長) 堀岡 一彦 (広告委員長) 吉田 善章 (編集委員長) 藤山 寛		岡野 邦彦 (出版委員長) 際本 泰士 二宮 博正 松岡 啓介
監 事	長谷川 満				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 吉田善章 (東大新領域)

エディター 関子秀樹 (九大), 関 昌弘 (RIST), 田中雅慶 (九大), 西村博明 (阪大), 福山 淳 (京大), 藤山 寛 (長崎大)

編集委員 荒巻光利 (名大), 飯塚 哲 (東北大), 岩尾 徹 (武蔵工大), 岩切宏友 (九大応力研), 岩前 敦 (京大院工), 上田良夫 (阪大院工), 江角直道 (長野高専), 片沼伊佐夫 (筑波大プラズマ), 門 信一郎 (東大高温プラズマ), 菅野龍太郎 (核融合研), 近藤公伯 (阪大院工), 榎田 創 (産総研), 重森啓介 (阪大レーザー研), 篠原俊二郎 (九大院総理工), 鈴木 哲 (原子力機構), 妹尾和威 (核融合研), 高杉恵一 (日大量科研), 高橋栄一 (産総研), 永岡賢一 (核融合研), 服部邦彦 (東北大院工), 林 康明 (京都工繊大), 楡垣浩之 (広大), 増崎 貴 (核融合研), 南 貴司 (核融合研), 山内有二 (北大院工), 山本 靖 (京大エネ理工研), 山本 巧 (原子力機構)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第82巻第5号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/>

印刷 株式会社荒川印刷

2006年(平成18年)5月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1金曜日に開かれています。但し、第1金曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の金曜日に開かれます。